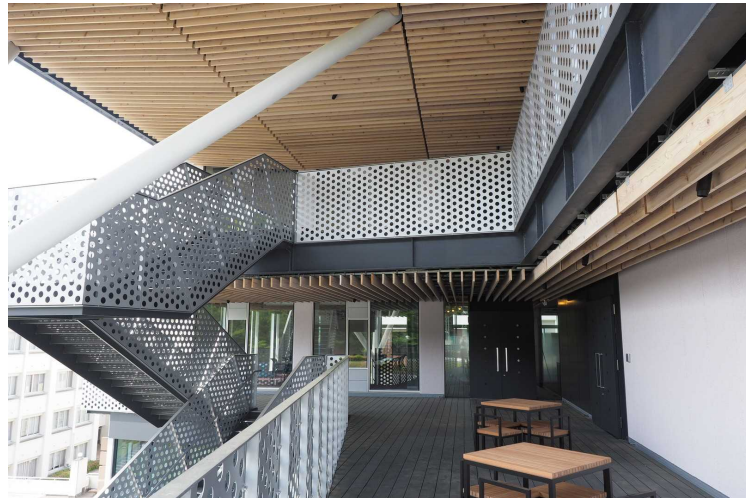


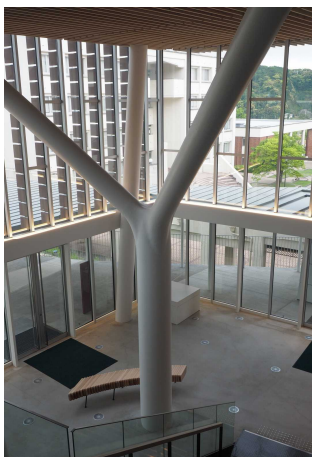
廊下との境界に壁のない開放的な空間（左：デザインスタジオ、右：3つのラボ）

構造 Structure

静岡県では東海地震等に備えるため、地震地域係数が日本で最も高い値として定められています。それに安全率も乗じ通常の建物の1.5倍の地震力で設計されています。この建物を研究対象として、各階には地震計を置き計測していきます。壁のない製図室や研究室を実現させるため、短辺3.6m×長辺11~14mの鉄骨による架構として、中央付近にブレースを集中して設けました。もう一つの特徴が樹状柱です。「大きな軒下空間」をつくるため、単調な柱梁フレームではなく枝分かれする樹木状の柱としました。意匠と構造が融合したデザインにより、ダイナミックな空間が生まれました。



樹状柱により支えられた大きな軒下空間



エントランスの樹状柱
(幹と枝はパイプ、枝分かれ部は鋳物)



中央付近のブレースも見せるデザインとした